

【研究タイトル】 他臓器浸潤大腸癌の臨床病理学的因子、長期予後についての検討

【目的】

大腸癌は 10-20%の頻度で隣接臓器に浸潤を認めますが、浸潤臓器を合併切除することで良好な予後が得られるとされています。しかし腫瘍に随伴する炎症性癒着と癌浸潤との術中鑑別は困難で、結果的に炎症性癒着であっても合併切除が行われる事が多いです。当院において手術を施行いたしました患者さんについて、他臓器浸潤を伴う大腸癌の組織学的他臓器浸潤、リンパ節転移や手術方法を含めた臨床病理学的因子、長期予後について検討する事が目的です。

【対象】

当院で 2011 年 1 月から 2019 年 12 月の 9 年間に手術を施行された大腸癌の方でこの研究にご協力頂ける患者さんです。

【方法】

現在、診療録として当院に保存してある個人情報を匿名化して研究に利用いたします。

【個人情報の使用について】

本研究で得られた個人情報が外部に洩れる事の無いように厳重に管理し、データを利用する場合は完全に匿名化して用いるものとします。

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供を希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。研究にご協力いただけない場合でも特に患者さんが不利益を受けることはありません。

問い合わせ連絡先

災害医療センター

〒190-0014 東京都立川市緑町 3256 番地

所属・担当者名：消化器乳腺外科 寺西 宣央

電話番号：042-526-5511 【受付時間】 9:00-17:00(土日祝除く)